



学校だより

鯛ノ巣

●学校スローガン

キラリ輝く 阿井っ子

あいさつ 一生懸命 あいじょう

島根県仁多郡奥出雲町立阿井小学校

令和4年1月号 1月21日発行

虎のような強さとあいじょうでトライ!



令和4年が幕を開けました。今年もよろしくお願いします。

1月11日には、3学期の始業式を行いました。新しい年になり、新鮮な気持ちで式に臨んでいた子どもたちは、姿勢もよく真剣な表情で話を聞いていました。

始業式では干支にまつわる話をしました。一年前の始業式には、干支の「丑」にちなんで、「牛歩千里」という言葉を紹介しました。今年の「寅」に関する言葉がないか思案していたところ、「虎は千里を行く千里を帰る」ということわざに出会いました。一步一步の小さな努力の積み重ねが大きな成果を生むという意味を表す「牛歩千里」と比べると、躍動感や力強さを感じ取ることができます。千里を走りぬけた後、帰りの千里も走りとおすエネルギーをも持ち合わせているような虎のイメージが伝わる言葉です。さらに調べてみると、「千里を帰る」のは自分の巣穴に待っている子どものことが心配だから帰るという意味もあると書かれていました。唸り声や獲物を狙う姿から、虎には獰猛なイメージをもってしまいがちですが、子ども思いの姿ややさしさが伝わるような解釈だと思いました。

自分の目標に向かってあきらめず「一生懸命」に努力する、相手を思いやる「あいじょう」をもって仲間とかかわりあう、そんな姿を目指す阿井っ子を後押ししてくれるような「虎は千里を行く千里を帰る」ということわざです。虎の力も借りながら、この一年子どもたちが自分を磨き、大きくたくましく成長していくか、楽しみに見守りたいと思います。

ちなみに虎の子育てはおよそ2年。この間、ひとり立ちしても生きていけるように狩りの仕方や身の守り方などを母親からきっちりと教わります。子育て期間が終われば、虎の子は親元を離れ、一人(一頭)で生きていきます。20歳から18歳に成人年齢が引き下がった人間の世界(日本の場合)とはずいぶん違いますね。



先生と6人の3年生の雪だるま。阿井の雪景色を堪能しているようです。

大自然の中でスキーを堪能 スキー教室



三井野原スキー場のリフトが停止となり、スキー教室を実施すべきか取りやめるか、職員で議論をしてきました。雪の多い土地で暮らす子どもたちに、ぜひ冬のスポーツを体験させたい、という思いで職員の考えも一つにまとまり、今年も三井野原スキー場でスキー教室を実施することにしました。(5・6年は湖遊館でのスケート教室を予定しています)

グレンデは一週間前からの雪におおわれ、素晴らしいグレンデコンディションとなりました。

最初のうちは、思うように滑ることができず、何度も転ぶ人も多かったのですが、少しずつ慣れてくるに従い、上手にスキーを操作して格好よく滑ることができるようになりました。ロープリフトで斜面の上の方に行けるようになった班もあり、子どもたちにとって、大満足の日になりました。

近年、島根県内のスキー場が相次いで閉鎖されるニュースもあり寂しい限りですが、これからも奥出雲町のスキー場でスキーができることを願いたいと思います。この時期にしかできない大自然の中で堪能できるスキーにこれからも親しんでほしいところです。

公民館の館長さんをはじめ5名の講師の方々、お世話になったドライブイン三井野の皆さんありがとうございました。

行事予定

1月◆◆◆◆◇◇◇◇

- 21日(金) 人権・同和教育に視点を当てた公開授業
- 24日(月) お話タイム(2月4日まで)
- 26日(水) 発表集会(1年) 委員会
- 27日(木) 後期学校訪問

2月◆◆◆◆◇◇◇◇

- 1日(火) 音楽集会(3年)
- 2日(水) 奥出雲町の未来学習(6年:横田高校)
- 3日(木) スキー教室予備日(1~4年)・スケート教室(5・6年)
- 4日(金) 新一年生一日入学



- 7日(月) スーパーホッケー交流会(6年)
- 8日(火) みぞづくり体験(3年)
- 9日(水) 全校集会 なかよし班会委員会
- 10日(木) 幼児園給食体験
ここにこ発表会・送る会
(こばと学級:カルチャープラザ)
- 11日(金) 建国記念の日
- 12日(土) 仁多中学校一日入学
- 14日(月) お話出前134年
- 15日(火) スクールカウンセラー来校日
- 16日(水) 薬物乱用防止教室((6年)児童総会 クラブ)
- 18日(金) なかよし班会 PTA役員会
- 23日(水) 天皇誕生日
- 24日(木) 授業公開日今年度最終
- 25日(金) 送る会リハーサル

3月◆◆◆◆◇◇◇◇

- 3日(木) 6年生を送る会
- 18日(金) 卒業証書授与式
- 24日(木) 修了式・離任式

保護者宛予定表では1日にしていましたが、都合により変更します。



かまくら

阿井小アーカイブ

～開校百周年記念誌から～

冬休みの期間を利用して、阿井小学校百周年記念誌を手にとってみました。今からおよそ50年前に、開校百周年記念事業実行委員会が発行されたものです。全体で120ページを超えるボリュームがあり、開校からの100年をたどる素晴らしい歴史書でもあります。本紙面ではこの記念誌をもとに阿井小の明治・大正期を中心に振り返ってみます。

☆服装・はきもの



昭和3年～55年までの学舎

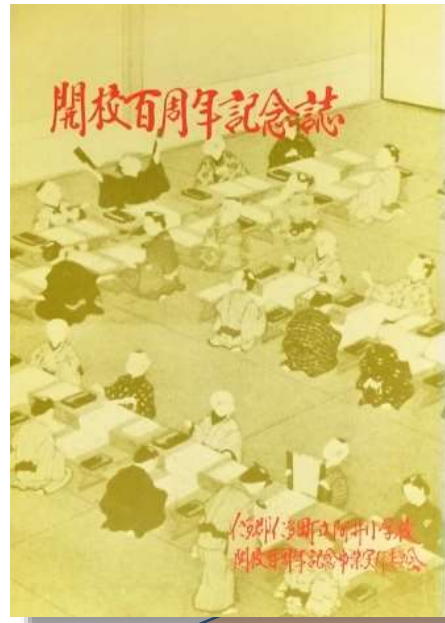


昭和32年新築までの内容分校

☆修学旅行 木次までは徒歩で

修学旅行の歴史は古く、明治35年に行われた記録が残っています。時期により旅行先は様々で、松江方面の年もあれば広島・呉、四国高松方面まで出かけたこともあったようです。

『汽車も木次からで、木次までは徒歩で、それも大吉から上山と、吉田村を経て椿橋を渡ってという道すじ、木次で汽車に乗ったのは午後だったと思う。』(大正13年)という記述もあります。当時の木次線は穴道駅・木次駅間のみが開通しており、奥出雲地方には鉄道は走っていませんでした。そこで阿井から一番近い(と言っても相当な距離ですが)木次駅まで歩いたのでしょう。往路は下り中心、出発してから間もないこともあり、さっそうと歩いていたでしょうが、復路は疲れもあり、たいへんな道のりだったことと思います。なおこの時の旅行先は、松江・清水寺・米子・美保関神社・五本松公園・美保関灯台などをまわったようです。



『生徒は和服で教科書は風呂敷又は黒布製の鞆、帽子は今とほぼ同じもの、履き物は草履、わらじ、げた、雨具はみの、からかさ、毛布、マントと変わっていた。鉛筆は五年生から、それまでは石盤に石筆であった』(明治末期頃の様子の記述)
『わらじ、ぞうり、小さい時にはおじいさん、おばあさんに作ってもらいました。五年生にもなると、自分でつくれ』が始まり、困りました。学校まで四キロあると思いますが、作ってもらったのは二日ぐらい、自分でつくったものは一日ぐらいしかもたず、帰るのに二キロぐらいは毎度はだして帰ったものです。』(大正期)

1973年 昭和48年

開校100年



☆伝統の赤鉢巻

「赤い鉢巻か、見んでもわかったことだ。」
百年史の昭和のはじめ頃の記述には、上のようにつぶやきも掲載されていました。学校対抗の陸上大会でのこと。(スタートラインに並ぶ各校の選手の中に、赤い鉢巻の阿井小の選手がいると、走るまでもなく1等は阿井小の選手だから勝てっこない、わかったことだ)という阿井小の強さを代弁するようなことばです。『当日の優勝旗は全部阿井が獲得しました。』(昭和6年の仁多郡陸上大会)『当時は特に阿井の女子は強くて新記録も随分出ましたから、メダルを七つも八つも持った人は数人おりました。』(郡内、三刀屋・大東の各運動会)などの記述もありました。

大正末期から体育の充実を目指した教育が行われ、猛練習を重ねるなかで走る力をつけてきたようです。阿井は昔から陸上が盛んだったことは、認識していましたが、その「昔」が百年も前の「昔」からだったとは驚きでした。

雪の日の登校は昔も今もたいへんです。『冬には、つまごわらじを使用しました。わらで作った物ですから、粉雪の時には、まあまあでしたが、雪がとけたとき、またみぞれ雪の時には水が中にはいり本当につめたい思いをしました。』と大正期を振り返っての手記が掲載されていました。学校に着くと木炭を燃やして暖をとる爐(ろ)があり、そこでわらじを乾かしていたそうです。当時は上下関係が厳しく、下級生のわらじはあまり乾かすことができません、帰るときまでにわらじが乾かず、かちかちのままではくことが大変だったとも。苦く冷たい思い出だったことでしょうね。現在は大雪になると早朝から登校路も除雪をさせていただいており、ありがたい限りです。

☆冬の登下校

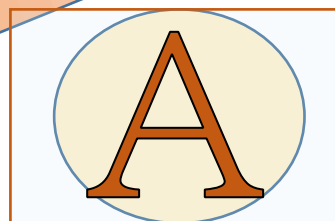
☆夢多き時代

今の時代の尺度で考えれば、大正・昭和初期の頃は、いかに不便で大変な学校生活だったことでしょう。しかし、記念誌に書かれている手記に綴られた「よるこんで通学しました。」「皆な元気で通学しました。」などの言葉に偽りはなく、きらきらと輝くような学校生活を送っていたことも事実だったことでしょう。『夢多き時代』との題名で夢をもって日々を過ごしていた当時を振り返られた方もいらっしゃると思います。

過去の歴史を紐解く中で、先達の方々からたくさんのエネルギーをもらうことができました。

1873年 明治7年

長栄寺にて開校



白いユニフォームに赤い鉢巻。左胸にはAの文字の赤布がつけられました。

1年

3学期のひまわり

- ☆きかえをはやくする
- ☆字をきれいにかく
- ☆おさらあらいをまい日する (Y)

こんな一年に！

2年

- ☆かんじをていねいに書く。せいいりせいとんをする。(S)
- ☆分数のもんたいをがんばりたい。2年生ぜんいんできょう力したい。(Y)
- ☆長さのべんきょうをしゅう中してやりたい。ろうかは歩くようにがんばりたい。(C)

新年の決意

3年

- ☆算数など答えがわからないときでもあきらめずやりたいです。しっばいしてもしっばいを宝にしてもう一回やってせこうしたいです。(S)
- ☆体育をさいごまであきらめずにがんばります。字をていねいにかくことをがんばります。せいいりせいとんをがんばります。(R)

4年

- ☆一つ目は勉強です。4年生も最後に近づいてきて、だんだん勉強がむずかしくなると思ったからです。二つ目は委員会です。5年生になってから今の3年生も委員会をするから、いろいろなことを教えないといけないし、ほうそうなど委員会でやらなければいけないときに、手伝ってあげたりしたいと思います。(T)

5年

- ☆みんなに優しくする (A)
- ★学校のみなをひっぱる (S)
- ☆イライラしない (M)
- ★学年・男女関係なく遊んだり話したりする (K)
- ☆後回しにしない
- すぐにあきらめない (Y)
- ★アドバイスをしっかり聞く (R)
- ☆常に頭を回し続ける (M)

6年

あこがれる

- ・常にせいま正す。
- ・たれにでも優しくする。
- ・はじめてのびをやる。
- ・リーグシップをとりた。
- ・他の学年の人とたくさん遊んで仲良くなりたい。
- ・もともと遊みたい思。てもらう。
- ・時間をやる。
- ・みんなのしんらい度か上がる。(K)

(M)

心新たに自分のめあてや新年の決意を考えました。学級で発表会をしたり、原稿用紙に書いたりしました。